



<https://www.gerodontology.jp/>



日本老年歯科医学会
Facebook



日本老年歯科医学会
Twitter



本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は、本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製、その利用等は、目的の如何および個人利用を問わず、本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。



News Letter

No.51

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2023年3月31日発行

【本号のトピックス】

第34回学術大会および第12回IAGG国際老年学会議いよいよ6月開催！
令和4年度日本歯科医学会会長賞受賞報告／令和4年度老健事業報告／
研修会報告／専門医認定者の声／用語辞典第3版発行のお知らせ 他

第34回学術大会—生きるための、しあわせのための「くち」を守る— 横浜にてお待ちしております！ #JSG23

大会長 菊谷 武
(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)

第34回学術大会まであと2カ月ほどとなりました。4本の特別講演、13本のシンポジウムの各テーマ、座長、演者の先生方もほぼ決定しております。特別講演、各シンポジウムでは、その道の第一線で活躍されている先生方とこれからの老年歯科医学を牽引する新進気鋭の若手の先生にも登壇していただきます。また、ランチョンセミナーに加えて、飲茶セミナーを企画しております。これらの企画のほかに口演ならびにポスター発表を含めると約130題の発表を予定しております。本ニュースレターと同封の学会誌37巻4号には各企画の詳細について記載しておりますのでご覧ください。

本学術大会は現地開催を中心としており、一部オンデマンド配信を予定しておりますが、ライブ配信の予定はありません。やはりリアルで行う講演や研修会、対面に

よるディスカッションは盛り上がります。本学術大会はこの分野を担う先生方に向けて魅力あるプログラムになっております。ぜひともお誘いあわせのうえ新しいパシフィコ横浜にお越しください。



<https://confit.atlas.jp/guide/event/gero34/top>

第12回IAGGアジア/オセアニア国際老年学会議 (IAGG-Asia Oceania Regional Congress 2023)のご案内

2023年6月に第12回アジア/オセアニア国際老年学会議が横浜で開催されます。

会議では、世界の一流科学者の特別講演を予定するほかにも、歯科や口腔機能に関するシンポジウムも複数用意しております。ほかにも目が離せないプログラムをいろいろと準備しております。皆様の参加を心からお待ちしております。

【開催概要】

日程：2023年6月12日(月)～14日(水) (3日間)
会場：パシフィコ横浜 ノース
会長：鳥羽研二先生(東京都健康長寿医療センター)
テーマ：For Enhanced Wellbeing in Later Life through Innovation and Wisdom Sharing

大会 HP URL : <https://www.iagg2023.org/>
大会 HP QR コード :



参加登録期間：

(スタンダード) 2023年3月16日(木)～6月11日(日)
(当日オンサイト/オンライン) 2023年6月12日(月)～6月14日(水)
※登録期間により金額が変わりますのでご確認ください。

参加登録ページ：

https://www.iagg2023.org/jp/registration_jp.html
※本学会会員は、割引料金になります。
※IAGG-AOR2023参加により認定単位6単位付与

オンライン歯科衛生士セミナー開催報告

歯科衛生士関連委員会委員 藤原千尋

2023年2月23日(木)、第11回歯科衛生士関連委員会主催セミナーをオンラインにて開催しました。今回のセミナーでは、講師に香川県保健医療大学保健医療学部看護学科教授の片山陽子先生をお招きし「歯科衛生士に必要な Advance Care Planning (ACP) の基礎知識」と題してご講演をいただきました。当日は、計213名の参加があり盛況のうちに終了いたしました。

一人ひとりが、人生の最期まで自分らしく生きることができるよう、健康なときから ACP の概念を理解したかわりをもつ大切さをわかりやすく解説いただきました。また、ご本人の意思にある背景を知るために、対話のなかで聴くスキルの必要性など実践へのポイントもお示しいただきました。

今後、高齢者医療にかかわるなかで歯科衛生士も意思決定を支援する一職種であることを認識する有意義なセミナーとなりました。



片山先生にわかりやすく解説いただきました

オンライン歯科衛生士交流会開催報告

歯科衛生士関連委員会委員 石黒幸枝・丸岡三紗

2023年2月23日(木)、歯科衛生士関連委員会主催のオンラインセミナー終了後、歯科衛生士交流会を開催しました。昨年に続きオンライン開催でしたが、病院や施設、教育現場などさまざまな領域で活躍する歯科衛生士19名の参加があり、3つのブレイクアウトルームに分かれて、活発な意見交換を行いました。初めて参加した方もすぐに打ち解けて、臨床歴3年目の若手に対し40年目のベテランが「高齢者とのコミュニケーションのコツ」について伝授する微笑ましい場面もみられました。参加者からは「同じ気持ちをもつ全国の仲間とつながれて嬉しかった」などの声が聞かれ、学会に対する要望もいただき、たいへん有意義な交流会となりました。

今後、学会会場での対面の交流などさまざまな企画を考えてまいりますので、奮ってご参加ください。



笑顔あふれる交流会の様子

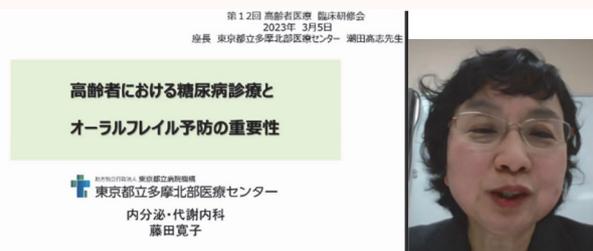
第12回高齢者医療臨床研修会開催報告

研修委員会委員 潮田高志

2023年3月5日(日)に第12回高齢者医療臨床研修会が開催されました。開催当日は日曜日の午前中にもかかわらず262名の会員に参加いただきました。

(地独)東京都立多摩北部医療センター内分泌・代謝内科の藤田寛子先生より「高齢者における糖尿病診療とオーラルフレイル予防の重要性」と題して、糖尿病患者の背景から病態や治療、また口腔内フレイルとの関連性にいたるまで裾野を広げた内容を、実症例を供覧しながら非常にわかりやすくご講演いただきました。明日からの臨床において非常に有用性の高い内容であり、講演終了後の質疑応答でも多くの質問が挙げられておりました。今後

も会員の皆様にとって有益な内容の研修を企画させていただきますので、よろしくお願いいたします。



藤田先生に実症例を交えて講演いただきました

新規 専門医認定者の声

山口喜一郎先生

(福岡リハビリテーション病院歯科)

現在私は、福岡リハビリテーション病院の歯科部長として高齢者歯科治療に携わっています。卒業後から学んできた歯科麻酔および障害者歯科の知識と経験を生かし、全身的な病気を有する方や、高齢で障害を有する方への歯科治療を中心に、歯科訪問診療や多職種連携のもと摂食嚥下リハビリテーションにも力を入れています。



筆記試験では高齢者歯科診療を行ううえで必要とされる内容が幅広く出題されており、普段からさまざまな症例に触れ、学ぶ姿勢が必要であることを再認識することができました。

今後は専門医として診療に携わりながら、高齢者歯科を学びたい先生方を指導できるようさらなる研鑽を積んでいきたいと思っております。

野本亜希子先生

(浜松市リハビリテーション病院)

私が老年歯科専門医を目指したきっかけは、病院歯科に勤務し、日々向き合うのが疾患を有する高齢者であることと、リハビリテーション科専門医を目指す医師が同僚に多かったことです。症例報告書では、いわゆる歯科治療だけではなく、嚥下障害や失語症に対してどのように機能面とかが変わったのかを重点的に記載しました。複数の疾患を有し、多剤内服する高齢患者の歯科治療には、知識が必要です。老年歯科専門医を取得するための勉強は、曖昧だった知識を整理し蓄えるのに良い時間になりました。今後は、老年歯科専門医として一層、臨床、研究に励みたいと思っております。



高橋真実子先生

(日本大学医学部附属板橋病院)

東京都リハビリテーション病院で、リハビリを目的に入院している患者様に対して、多職種連携で治療をするなかで、歯科として貢献した症例報告をもって認定医を取得しました。

その後、日々の仕事に取り組むなかで、専門医を志すようになりました。

症例報告書では、有病高齢者の治療で特に気をつけた点を中心に作成しました。

また、試験対策は、教科書の『老年歯科医学』を読んでいた。

有病者の歯科治療を多く経験しており、これからも、専門医として仕事のなかで得た知識や技術を患者様や社会に還元できるよう、日々精進して参ります。



水頭英樹先生

(徳島大学大学院医歯薬学研究所)

口腔顎顔面補綴学分野)

私は大学病院所属ですので、患者はいわゆる「元気な高齢者」が多く、症例報告の10症例はなかなか難しいと考えていました。指導医からは、常々初診時には通常の間診・口腔内診査・エックス線撮影だけでなく、患者の生活を聞くように指導されてきました。病院まで誰とどのような交通手段で来たか、家族構成、食事は誰が作るのか、何階に住んでいるのかなど、患者の生活に踏み込んだ問診をするように習慣づけられました。そのおかげで、高齢者特有の疾患・体調や生活の些細な変化に気づき、患者それぞれに合った治療を報告できたと思います。専門医試験は出題範囲が多岐にわたりますが、知識の整理とブラッシュアップになりますので受験することをお勧めします。



支 部 だ よ り

群馬支部主催研修セミナー 開催報告

群馬支部支部長 鎌田政善

2023年2月11日(土)に群馬県歯科医師会館において、群馬県歯科医師会の共催と群馬県ならびに群馬県歯科衛生士会の後援により、標記セミナーを開催いたしました。

今回は、東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座の教授である関根秀志先生をお迎えして「超高齢社会における補綴処置」の演題で、インプラント症例の予後をも見据えた治療計画の重要性や終末期の歯科対応の必要性などについてご講演をいただきました。

3年ぶりに支部研修会を開催したのですが、コロナ禍の影響もあってか、参加者は42名とやや寂しい感じでしたが、感染などの後日報告もなく無事終了することができました。



関根先生(左)と支部長

三重支部共催セミナー 「東海オーラルマネジメント研究会」 開催報告

三重支部支部長 金森大輔

2023年2月26日(日)に三重支部の共催で、第9回東海オーラルマネジメント研究会をハイブリッド形式(現地:ウインクあいち)で開催しました。今回はハイブリッド形式であったため現地54名、オンライン122名と全国から多くの参加者を迎えることができました。「嚥下障害へのアプローチの多面性について考える！」をテーマとして、愛知学院大学の渡邊 哲先生、こじまデンタルクリニックの小島 香先生、東海嚥下食研究会会長の石崎克彦先生からそれぞれご講演いただきました。明日からでも臨床に使える内容ばかりでたいへん有意義な研修会でした。



有意義な研修会となりました

第4回九州老年歯科フォーラム in 大分 ～地域を診守る役割分担～ 開催報告

大分支部 尾崎由衛

2023年3月12日(日)に大分県歯科医師会館(+ZOOMによるWeb配信)にて、大分県歯科医師会、医師会、看護協会、歯科衛生士会、言語聴覚士協会、栄養士会、介護支援専門員協会、認知症の人と家族の会の後援をいただき、標記セミナーを開催いたしました。2019年に準備委員会を立ち上げましたが、感染症の波の影響で3年越しにようやく開催にたどり着きました。基調講演として川越正平先生(千葉県松戸市あおぞら診療所院長)から「地域包括ケア時代の歯科への期待」と題し、Web上でご講演いただきました。シンポジウムでは医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、言語聴覚士、管理栄養士の方々にそれぞれの職種の視点から「認知症高齢者の栄養サポート」をキーワードに発表していただきました。教育講演として私が「地域で行う摂食嚥下リハビリテーション～現状と課題～」と題し講演させていただきました。参加者数は78名(歯科医師45名、歯科衛生士20名、管理栄養士5名、言語聴覚士2名、医師1名、その他5名)でした。会員以外の方々にも多く参加いただき、たいへん有意義な会となりました。



川越先生による基調講演の様子

神奈川支部主催セミナー 開催報告

神奈川支部支部長 玉置勝司

3月26日(日)に、神奈川歯科大学附属病院大講堂において、神奈川県歯科医師会、本会山梨支部・島根支部の後援により、神奈川支部主催セミナー「これからの歯科治療と栄養指導が国民の健康を向上させる」を開催いたしました。

窪木拓男先生(岡山大学)、三浦宏子先生(北海道医療大学)、横山友里先生(東京都健康長寿医療センター研究所)、尾関麻衣子先生(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)らに講師をお務めいただき、筆者・玉置も「高齢者の補綴処置後の効果的栄養指導の模索」というタイトルで講演いたしました。

高齢者に行う口腔内のケアや歯科治療に必要な不可欠な

オーラルフレイル、口腔機能低下に関する検査および栄養指導などの管理指導の重要性について見直すための有意義なセミナーとなりました。



ご講演の先生方を中心に

支部セミナーのご案内

北海道支部主催「第22回北海道口腔ケアセミナー」

日時：2023年5月13日(土) 14:00~16:30(予定)

Web配信(Zoomによる配信)

主催：北海道支部、北海道口腔ケア研究会

岐阜支部共催セミナー

「岐阜県 多“食”種連携研究会」

日時：2023年5月14日(日) 9:30~14:40

会場：朝日大学医科歯科医療センター

主催：岐阜県 多“食”種連携研究会

老年歯科医学用語辞典(第3版)が発行されました

学術用語委員会委員長 大神浩一郎

老年歯科医学用語辞典 第3版が、2023年3月に出版されました。本書には、歯科分野で使用される多くの専門用語が収録されています。これにより、多くの専門職の方々が専門用語を正確に理解することができ、多職種連携を図るうえで非常に役立ちます。また本書は第2版に収録された用語の再整理を行い、歯科分野の最新知見を反映させた学術的解説内容にリニューアルいたしました。さらに歯科分野以外の方でも役立つ辞書になり、教育・研究・臨床など多くの場面で有効活用していただけるものとなっております。



編集後記

6月に横浜で開催される第34回学術大会、第12回IAGGアジア/オセアニア国際老年学会議等をご案内いたしました。また、本学会公式キャラクターである、かえるの「キキ」とうさぎの「もも」は、学術大会のご案内やリーフレット等、本学会の広報活動で活躍中です。会員の皆様のキキ、ももの益々の応援のほど、お願いいたします。

(伊藤誠康)

発行人 水口俊介

編集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

駒込TSビル (一財)口腔保健協会内

E-mail gakkai30@kokuhoken.or.jp